

様式第 2 号(第 7 条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	第 3 回さいたま市教育行政点検評価委員会
2 会議の開催日時	令和 6 年 8 月 6 日 (火) 午後 2 時 0 0 分から午後 2 時 1 5 分まで
3 会議の開催場所	さいたま市役所第二別館 2 F 教育委員会室
4 出席者名	平澤委員長・橋本委員
5 欠席者名	郡島委員
6 議題及び公開又は非公開の別	各施策についての点検・評価 (総括) 公開
7 非公開の理由	
8 傍聴者の数	0 人
9 審議した内容	議題のとおり
10 問合せ先	教育委員会事務局 管理部 教育政策室 電話番号 0 4 8 - 8 2 9 - 1 6 2 6
11 その他	

第3回 さいたま市教育行政点検評価委員会

日 時	令和6年8月6日（火） 14時00分から
場 所	教育委員会室

－ 次 第 －

- 1 開 会
- 2 議 題 各施策についての点検・評価（総括）
- 3 閉 会

第3回さいたま市教育行政点検評価委員会 出席者名簿

1 さいたま市教育行政点検評価委員 (敬称略)

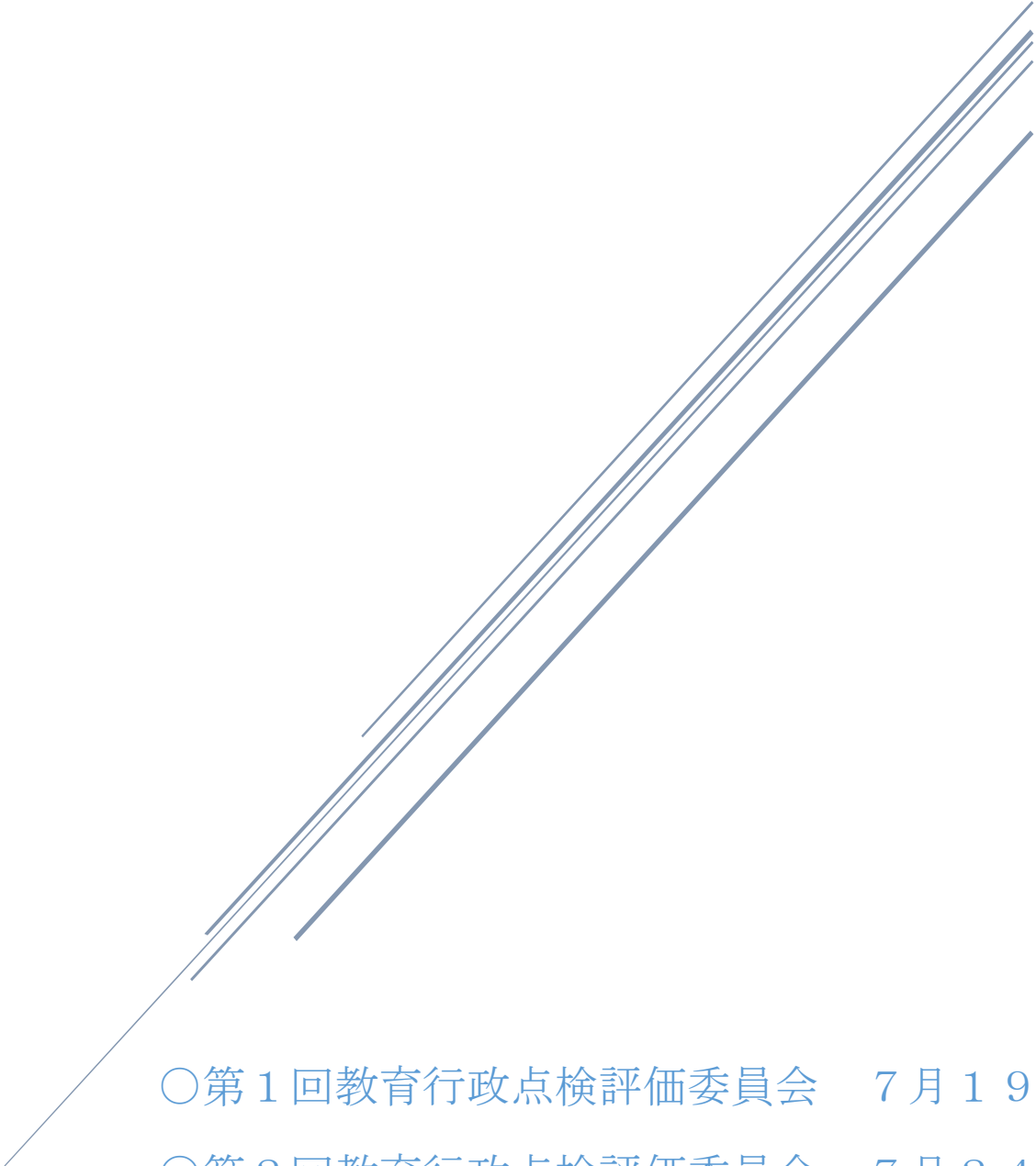
氏 名	役 職 等
(ひらさわ なこ) 平澤 奈古	元さいたま市教育委員
(はしもと まさはる) 橋本 正晴	青少年育成さいたま市民会議常任理事

2 事務局

	氏 名	役 職
1	田中 修	管理部 参事（兼）教育政策室長
2	大橋 和彦	〃 教育政策室副参事
3	瀧山 聡美	〃 教育政策室副参事兼室長補佐
4	徳田 真悟	〃 教育政策室 主任

さいたま市教育行政点検評価委員会

【意見のまとめ】

- 
- 第1回教育行政点検評価委員会 7月19日
 - 第2回教育行政点検評価委員会 7月24日
 - 総括 8月 6日

◆ 教育行政点検評価委員会委員の意見

1 教育 DX による学びの自律と個別最適化の実現

(1) GIGA スクール構想のネクストステージ「さいたま市スマートスクールプロジェクト」の推進

- ・エバンジェリストが ICT を活用した授業をけん引していると聞いており、いい取組だと思う。エバンジェリストを増やす取組を引き続き実施していただきたい。

(3) 学びの自律化に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善

- ・家庭科の授業の見学をした際、協働的な学習が活発に行われており、子どもたちの学習に取り組む姿勢や活発に話し合う様子が大変素晴らしいと感じた。今後も継続して取り組んでいただきたい。

(4) SDGs の実現を目指した教育の推進

- ・PTA と連携して、親子で取り組むアワードの開催・表彰等が出来るかと協力する保護者も増えるのではないかと。

(7) 金融経済教育における探究的な学びの充実

- ・モデル校の実践事例によって、子どもたちがどんな成果を上げることができたのかということやどんな変容を見せたかといった視点についても記載したほうがよいのではないかと。

(8) スポーツを科学する児童生徒の育成

- ・高等学校で実施した実践事例を集めて、中学校で共有して活用できるようにしてほしい。
- ・動画解析アプリについては、使用方法や部活動での活かし方について専門家の方に教えてもらってみてはどうか。
- ・スポーツに関しては、動画解析などだけではなく、力を合わせて取り組む過程も重要であると思うので、その点についても取り組んでいただきたい。

(その他)

- ・DX 推進による負担は現場の先生方に重くのしかかっていると思うので、業務の棚卸・専任化等で現場負担軽減も推進いただきたい。

◆ 教育行政点検評価委員会委員の意見

2 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成

（４）さいたま市学習状況調査等の結果を活用した教育支援の充実

- ・全国学力・学習状況調査はあくまで客観的に学力や学習状況を図る目的で実施しているはずなので、いい成績を収めることが目的となり、先生方や子どもたちに対する過度なプレッシャーとならないように注意を払っていただきたい。

（５）市立高等・中等教育学校の特色化・魅力化の推進

- ・海外での交流事業について、生徒の可能性が広がるいい取組だと思うが、保護者負担としては大きいのではないかと思う。例えば、クラウドファンディングなど、家庭の負担が減るような方法をぜひ検討していただきたい。

（６）学びの下支えとなる「非認知能力」（EQ）の向上に向けた取組の推進

- ・EQ 診断の取組は面白い取組だと思うが、実際に数値では測れないものであることを踏まえた上で、慎重に活用いただきたい。

（９）「さいたま市小・中一貫教育」による教育の質の向上

- ・小・中・高の連携について、小５・６年生に中学の部活動体験などを地域で行っている事例もあるので、各地域の好事例について周知や活用を図っていただきたい。

（１１）子ども読書活動の推進

- ・子どもたちが読書を好きになるためには、読書時間を確保することが重要だと考えている。既に実施しているとは思いますが、朝読書など、子どもたちの読書活動に関する時間を設けるような工夫を引き続き行っていただきたい。

（その他）

- ・アンケート全体で否定的(課題)な意見が少ないと感じた。否定的な意見を出しづらい可能性があるので、アンケート結果だけにとらわれず事業について、注視・改善を行っていただきたい。

◆ 教育行政点検評価委員会委員の意見

3 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成

(5) キャリア教育の推進

- ・ 未来くるワークについては、子どものキャリアを形成するうえで非常に重要な事業だと感じている、事業所の確保が大変だとは思いますが、今後もぜひ事業の継続をお願いしたい。

(6) 不登校等児童生徒への支援の充実

- ・ メタバースを活用した相談やコミュニケーションについて支援として効果的だということと伺っており、有意義な取組だと思う。より多くの児童生徒に活用いただけるように事業を積極的に広報していただきたい。
- ・ 以前より不登校の児童生徒が増えていると伺っているので、誰一人取り残さないという考えのもと積極的な施策を展開していただきたい。

(11) 学校・家庭・地域と連携した道徳教育の推進

- ・ PTA と共催する研修会についても検討いただきたい。

(12) 「子どものための体力向上サポートプラン」の推進

(13) 学校・家庭・地域が連携した食育の充実

- ・ 体力向上及び食育について、子どもたちが学ぶモチベーションを上げるきっかけを作る必要があると考えている。そのためには、体力及び食育がなぜ必要なのかということをしかりと教えた上で、運動が面白い・食事が楽しいと思えるような活動を展開していくと、より事業が充実していくように思う。

◆ 教育行政点検評価委員会委員の意見

4 人生100年時代を輝き続ける力の育成

(1) さいたま市民大学事業の推進

- ・市民大学の講座について、需要があると思うので、新たな講座として、スポーツ分野の講座についても検討してみてもどうか。

(2) 子どもの学び・親子の育ちの支援の充実

- ・親の学習事業について、親が参加しやすい日程での開催を多くすれば、より参加者が増えるのではないかと。

(7) ー1生涯学習施設それぞれの特色を生かした学校との連携【博物館】

- ・小学校への巡回展は子どもたちが歴史や文化に触れることができるいい取組だと思う。より多くの子どもたちが体験できるよう、実施していない学校に対するアプローチ方法を検討するなど、実施校増加の取組を検討いただきたい。

(その他)

- ・令和5年度について新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴い、リアルイベントに関して参加が増えていることは当然のことだとは思う。そのため、数字の結果については社会的な情勢に関する配慮を加えるべきである。
- ・デジタルの講座については、世の中にデジタルコンテンツがあふれてきている中で、市が作成するデジタルコンテンツが選ばれることは非常に難しいことである。例えばYouTubeにおけるショート動画作成のような工夫が必要であると思う。
- ・SNSでの炎上対策などメディアリテラシーへのニーズは、今後も高まっていく可能性が高いので、そのような市民にとってニーズのあるデジタルの講座充実を期待する。
- ・親子で一緒に参加できるイベントの拡充を検討いただきたい。

◆ 教育行政点検評価委員会委員の意見

5 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実

(1) コミュニティ・スクールの推進

- ・子どもたちが参画するコミュニティ・スクールについては、実際に発表内容を聞きに行ったが、子どもたちが学校運営に関する話題を身近に感じていてとてもよかったと思う。
- ・中学生が小学校のコミュニティ・スクールへ参加するなど、更なる子どもの参画を推進していただきたい。

(2) コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進

- ・教育委員会感謝状の贈呈について制度自体を知らない人が多いと思うので、制度の周知について教職員から地域や学校関係者に対して積極的に行っていただきたい。

(3) チャレンジスクールを通じた学びの輪・地域の輪づくりの充実

- ・チャレンジスクールを実施するスタッフの確保が課題だと書かれているが、教育実習生に来てもらった方に積極的に声をかけてみるのがいいのではないか。

(4) 学校安全ネットワークの推進

- ・ボランティアの確保は、どの事業においても課題だと思うが、ながら見守りボランティアのような登録しやすい制度はとてもいい制度だと思う。今後も、積極的に周知してほしい。

その他

- ・善意で来てくれるボランティアの方のモチベーションを高めるには、「子どもたちとのつながり」が重要だと感じる。ボランティアの方が子どもたちとの関わりの中でボランティアの意義を実感し、子どもたちとのつながりを大事に思っただけの取組を実施していただきたい。

◆ 教育行政点検評価委員会委員の意見

6 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

(1) 「新たな教師の学びの姿」の具現化

- ・「子どもへの性暴力防止に関する研修動画」の記載があるが、研修を実施したから必ず不祥事を防げるわけではないので、職場の環境をよくするなどの職員に対するケアについてもしっかりと実施してほしい。

(3) 新しい時代にふさわしい部活動の在り方の推進～部活動の地域移行～

- ・部活動の地域移行については、まずはやってみなければわからない部分もあると思うので、いろいろ試した上で目指す方向に向けて引き続き尽力していただきたい。

(4) 学校における働き方改革の推進

- ・先生方の負担感が急になくなることはないということは承知しているが、先生方の負担が減り、余裕ができることで子どもたちに対するより良い教育ができると思うので、引き続き学校における働き方改革の推進をお願いしたい。

(9) 学校のリフレッシュ計画の推進

- ・予算の拡充が難しいのは承知しているが、子どもの怪我に繋がることのないよう推進いただきたい。

(10) 学校体育館への空調機設置の推進

- ・近年の暑さは異常であり、体育館における授業でも体調不良になる子も多いと思うので、小学校への空調機の設置についてもぜひ前向きな検討をお願いしたい。

(12) 公民連携した奨学金制度の拡充

- ・クラウドファンディングについては、寄付を考えてくださる方の気持ちに訴えかけることが重要であると考えている。PRについては、寄付する方に事業の取組や成果など寄付の有効性を訴えかけるなど効果的な取組も研究したほうがよい。